

IFRS® Foundation

第3次アジェンダ協議

情報要請の概要

2021年8月

The views expressed in this presentation are those of the presenter, not necessarily those of the International Accounting Standards Board or the IFRS Foundation.

Copyright © 2021 IFRS Foundation. All rights reserved.

アジェンダ

はじめに

IASBの活動の戦略的方向性及びバランス

財務報告上の論点の優先順位を評価するための判断規準

作業計画に追加される可能性のある財務報告上の論点

質問

開始前に

本ウェブセミナーで示される見解は発表者の個人的な見解であり、必ずしも国際会計基準審議会（IASB）あるいはIFRS財団の見解を示すものではありません。



はじめに

状況の説明

第3次アジェンダ協議

IASBによる取り組み

- **現在のIASBの業務の範囲内の活動**での優先順位を決定する助けとなるフィードバックを求める
- 現在のIASBの業務の範囲内の活動は、営利企業の財務諸表及び経営者による説明
- 2022年第2四半期までに最終的な決定を行う

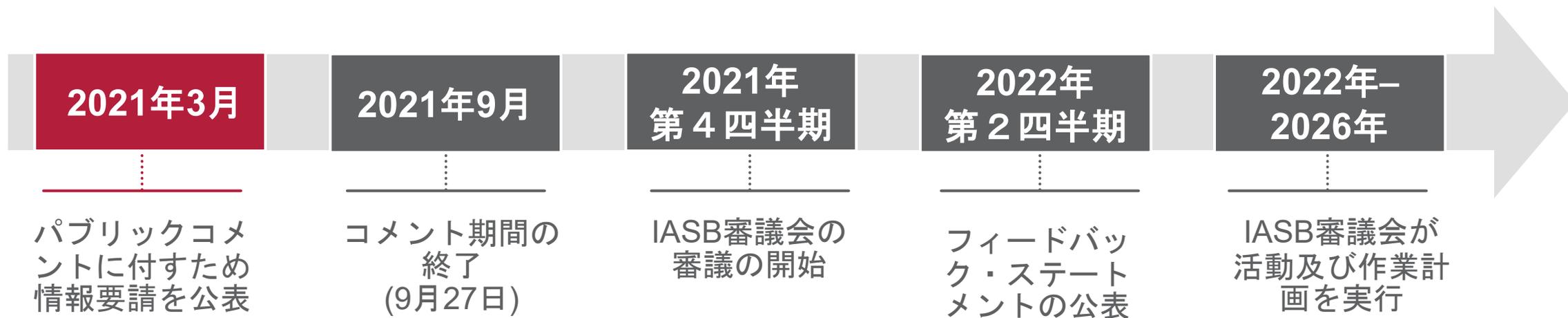
戦略レビュー

IFRS財団評議員会による取り組み

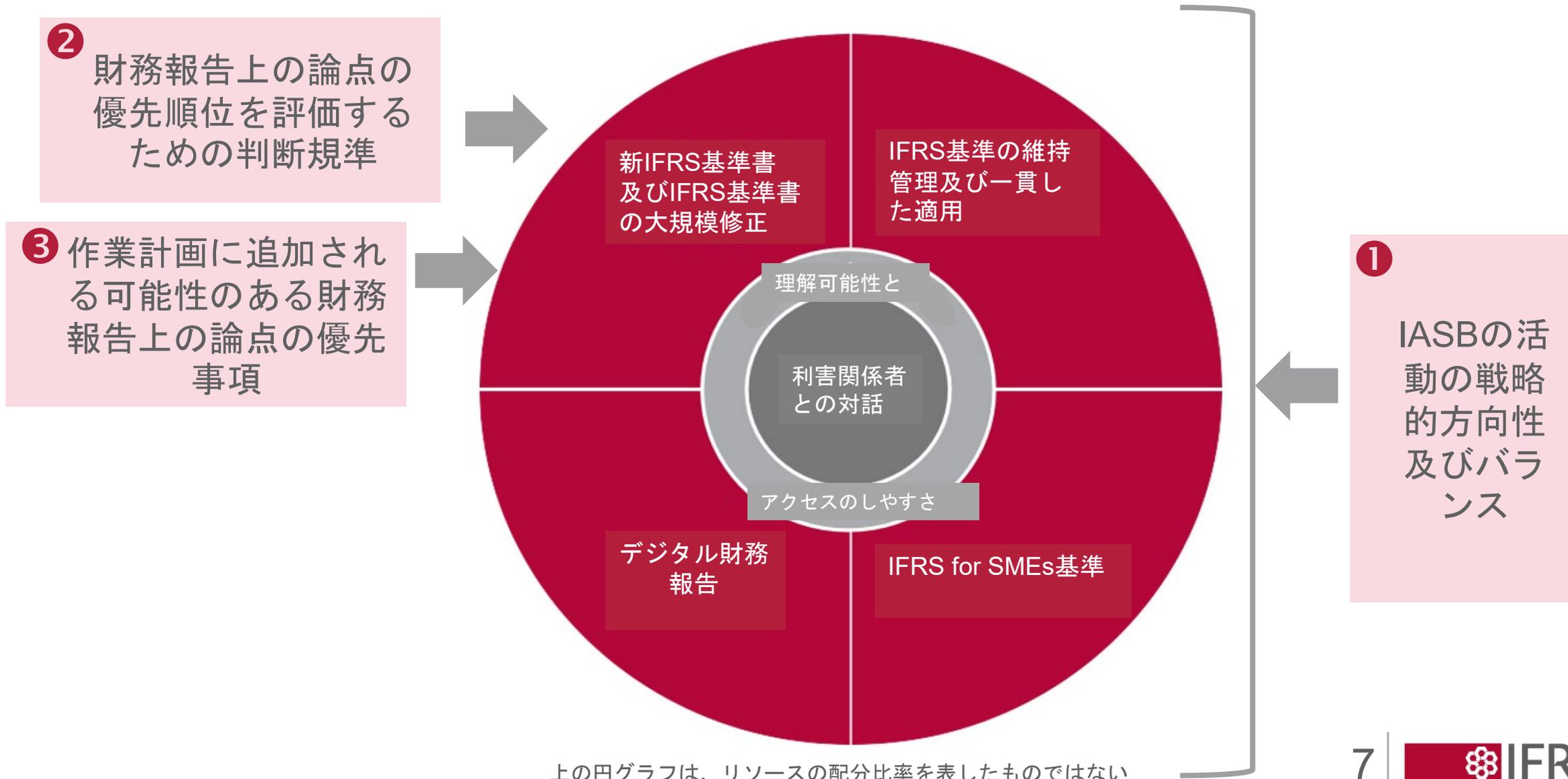
- サステナビリティ報告基準を設定する新たな審議会の設置を通じて当財団の役割を拡張する可能性を検討する
- 2021年11月の国連のCOP26会議の前に最終的な決定を行う

IASBの業務の範囲に影響を与える評議員会の決定は、IASBの優先事項と作業計画を最終決定するにあたり考慮される。

IASBのアジェンダ協議



アジェンダ協議の概要





① IASBの活動の戦略的 方向性及びバランス

概要



上の円グラフは、リソースの配分比率を表したものではない

各活動の現在の焦点レベル	
新IFRS 基準書及び IFRS 基準書の大規模修正	40%–45%
IFRS 基準の維持管理及び一貫した適用	15%–20%
IFRS for SMEs 基準	5%
デジタル財務報告	5%
理解可能性とアクセスのしやすさ	5%
利害関係者との対話	20%–25%

新IFRS 基準書及び IFRS 基準書の大規模修正

目的：財務報告上の論点をリサーチし、適切な場合、大規模な新規の財務報告の要求事項を開発する

IASBが現在していること

- リサーチ及び基準設定のプロジェクト
- 適用後レビューを実施

IASBがさらに行えること（例）

- 財務報告上の論点を扱うための新規プロジェクトに取り組むことが考えられる

維持管理及び一貫した適用

目的: 利害関係者が財務報告の要求事項についての共通の理解を得ることに役立てる

IASBが現在していること*

- IFRS基準の一貫した適用のモニタリング
- 狭い範囲の修正及び解釈指針
- IFRS解釈指針委員会アジェンダ決定
- 教育的資料の公表
- 一貫した適用を支援する役割における規制当局及び各国基準設定主体の支援

IASBがさらに行えること（例）

- 利害関係者とさらに協力して、適用上の課題を識別する
- 適用上の課題に以下を通じて対処する:
 - ✓ アジェンダ決定、狭い範囲の修正または解釈指針
 - ✓ 教育的資料及び新興経済圏や新規適用企業の対応能力を構築する取り組み

* IFRS解釈指針委員会とともに行う

IFRS for SMEs基準

目的: 公的説明責任を有さない企業 (SMEs) に合わせた財務報告の要求事項を提供する

IASBが現在していること*

- IFRS基準の定期的なレビュー及び必要があれば基準の修正
- 教育的資料の公表

IASBがさらに行えること (例)

- 利害関係者と協力し、基準の一貫した適用を支援する
- より多くの教育的資料を提供する。公的説明責任のない零細企業向けを含む
- IFRS基準の国際的な採用を増加させるために、各国基準設定主体及び他の機関と協力する

*SME 適用グループとともに行う

デジタル財務報告

目的：財務情報のデジタル利用を促進する

IASBが現在していること

- IFRSタクソノミの更新
- テクノロジーに中立的な表示及び開示の要求事項を開発する
- 教育的資料の公表
- デジタルエコシステムについてより幅広い議論に参加

IASBがさらに行えること（例）

- 投資者のニーズをさらに満たすためにIFRSタクソノミを改善する
- 要求事項の開発のために、テクノロジーに焦点を当てたアプローチを検討する
- デジタルエコシステムについて外部パートナーと共同で取り組み、IASBの管理外の要素に影響を与える

理解可能性とアクセスのしやすさ

目的: 財務報告の要求事項の理解可能性とアクセスのしやすさを改善する

IASBが現在していること

- **理解可能性**
 - ✓ 投資家へ提供する情報の質を改善させながら、企業にとっての不必要な複雑さを低減
 - ✓ 明瞭な基準書の文案作成
- **アクセスのしやすさ**
 - ✓ 相互参照の付いた注釈付きIFRS基準及び半年間のアジェンダ決定の収集版の発行
 - ✓ 電子版の基準書を検索しやすくするツールの提供

IASBがさらに行えること（例）

- **理解可能性**
 - ✓ 不必要な複雑性の可能性のある領域の包括的な評価
 - ✓ 不必要な複雑さを低減するプロジェクトの実施（既存及び新基準両方において）
- **アクセスのしやすさ**
 - ✓ テクノロジーやその他のツールを利害関係者の必要な内容に合わせて改善する

利害関係者との対話

目的: 高品質の財務報告の要求事項の開発を支援し、基準の受入れを促進するための意見を得る

IASBが現在していること

- 利害関係者との全般的な会合及びプロジェクト固有の会合
- 利害関係者とのさまざまな会合の支援に適した資料の開発
- 公式の協議文書に対する回答において受け取ったコメントレターを通じた対話

IASBがさらに行えること (例)

- より広範囲の利害関係者との対話を増加させる
- アンケート調査などデジタルに親和的なアプローチをさらに使用することによって正式の協議における対話を増加させる
- 投資者にさらに焦点を当てた教育的資料及び取組み



IASBの活動の戦略的方向性及びバランス

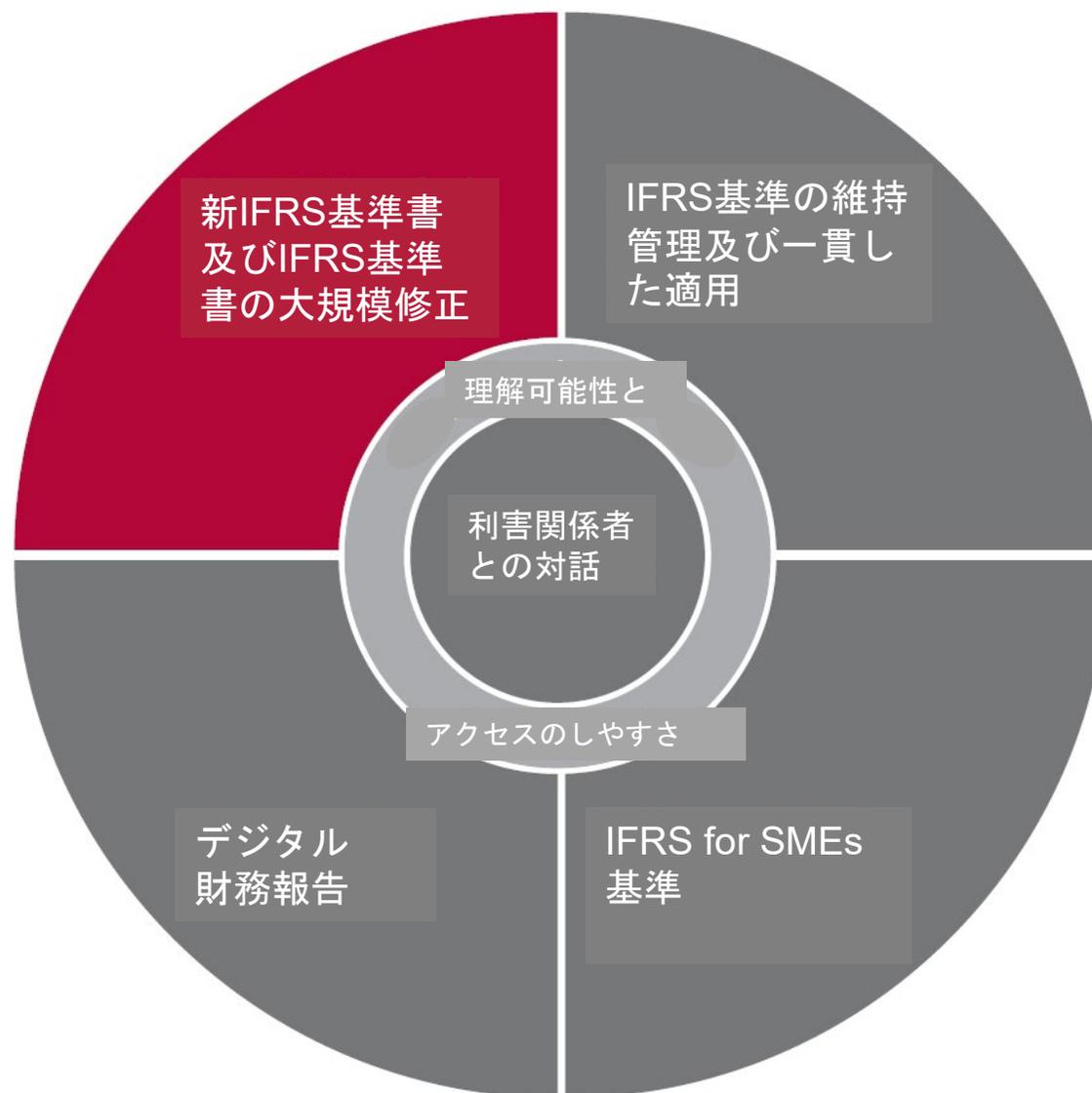
IASBは、IASBの6つの主要な活動の全体的なバランスについてのフィードバックを求めている:

- IASBは、主要な各活動について、現在の焦点レベルを増大、不変、減少のいずれとすべきか。賛成または反対の理由は何か。各活動の中でIASBが増大または減少させるべき作業の種類を、そうした変更の理由を含めて示すことができる。
- IASBは現在の業務の範囲内で他の活動に取り組むべきか。



② 財務報告上の論点の優先順位を評価するための判断規準

財務報告上の論点の優先順位を評価するための判断規準



上の円グラフは、リソースの配分比率を表したものではない

提案する判断規準

最重要の検討事項—情報の作成コストを考慮に入れ、潜在的プロジェクトが投資者のニーズを満たすかどうか

投資者にとっての当該事項の重要度

現在の報告において欠陥があるかどうか

当該事項が影響を与える企業の種類及び当該事項がより一般性が高い法域

当該事項がどのくらい普及しているか

潜在的プロジェクトの他のプロジェクトとの相互関係

潜在的プロジェクト及び解決策の複雑性及び実行可能性

潜在的プロジェクトを進捗させるためのIASB及び利害関係者の対応能力

特定された判断規準の範囲と主観性が意味するのは、潜在的プロジェクトを優先順位付けするには判断が必要—つまり判断規準に基づいて機械的に判断されるものではない

情報要請の質問



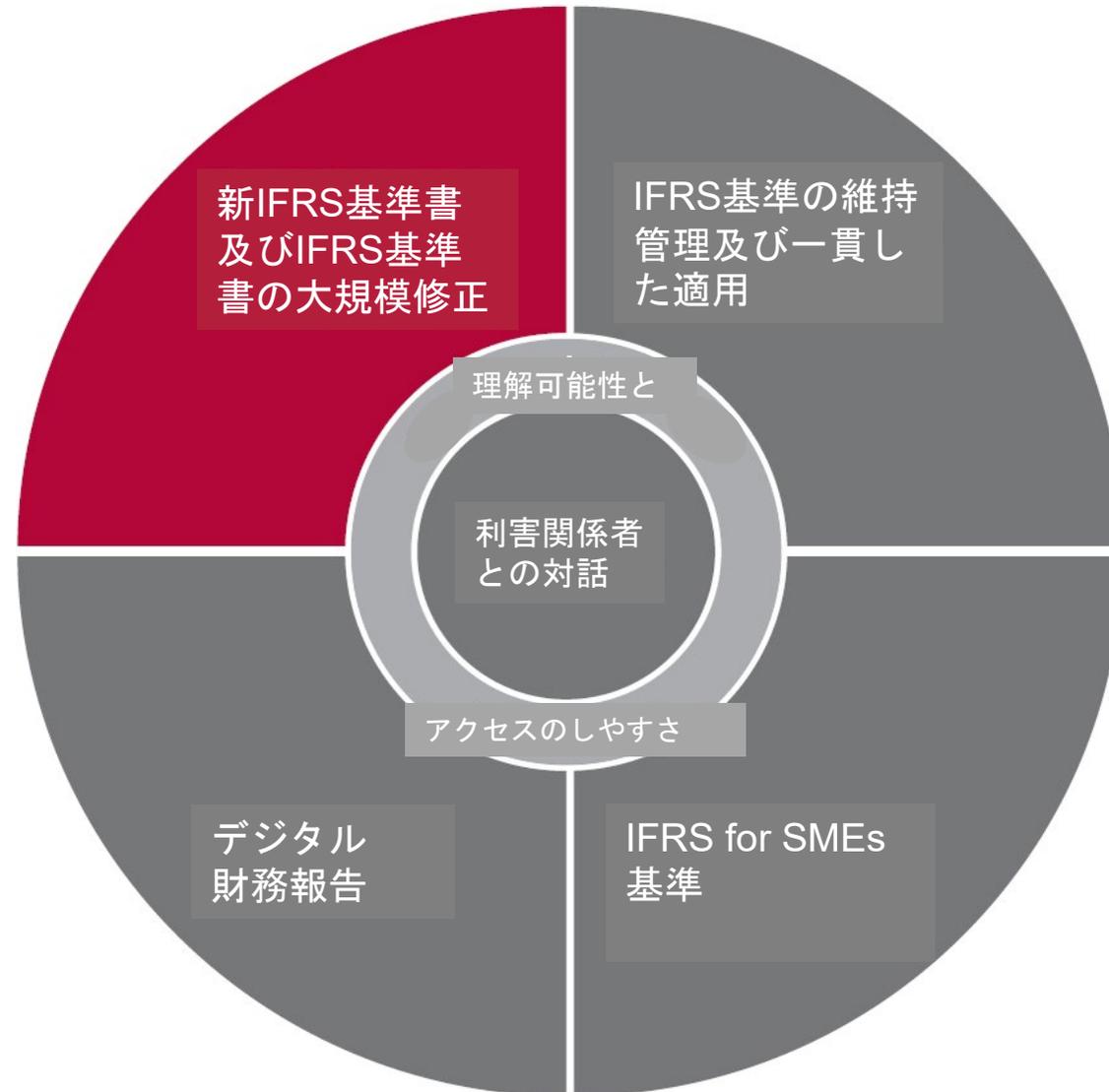
IASBの作業計画に追加される可能性のある財務報告上の論点の優先順位を評価するための判断規準

- IASBは使用すべき正しい判断規準を識別したと考えるか。賛成又は反対の理由は何か。
- IASBは他の判断規準を検討すべきか。その場合、どのような追加の判断規準を検討すべきか、また、その理由は何か。



③ 作業計画に追加される可能性のある財務報告上の論点

財務報告上の論点の優先順位



上の円グラフは、リソースの配分比率を表したものではない

2022年-2026年の作業計画の優先事項

既存の作業計画のプロジェクトを継続

- 利害関係者が以前に優先事項として識別していたプロジェクト
- 優先順位の変更は、プロジェクトの非効率的な開始と停止につながる可能性がある

必要な適用後レビューの実施

- IFRS第10号、第11号、第12号
- IFRS第9号
- IFRS第15号
- IFRS第16号

時間的に急を要するプロジェクトに取り組み

- 本協議の後に発生する可能性のある緊急のプロジェクト
- 例えば、2015年アジェンダ協議後に発生したIBOR改革プロジェクト

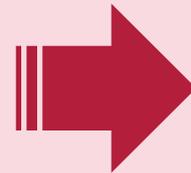
作業計画に新たなプロジェクトを追加する

- IASBが引続きリソースの40-45%をこの活動に費やす場合、2-3個の大型プロジェクト、または4-5個の中規模プロジェクト、もしくは7-8個の小規模プロジェクトの追加を見込む

新たな財務報告上の論点

IASBのアプローチ

情報要請に記載すべき潜在的な新規プロジェクトを識別するために、アウトリーチを実施



利害関係者のフィードバックに焦点を当てるために対処できる論点について共通の理解を提供する



- 各潜在的プロジェクトでIASBが行うことのできる様々な種類の作業の識別を含む記載
- 潜在的プロジェクトのリストはIASBの作業計画案を示すものではない
- 利害関係者は、他の財務報告上の論点を提案することができる

情報要請に記載されているプロジェクト

記載されているプロジェクト				
借入コスト	気候関連リスク	コモディティ取引	暗号通貨及び 関連取引	非継続事業及び 処分グループ
割引率	従業員給付	費用 (棚卸資産及び 売上原価)	外国通貨	継続企業
政府補助金	法人所得税	インフレーション	無形資産	期中財務報告
マイナス金利	事業セグメント	その他の包括利益	排出物価格設定 メカニズム	個別財務諸表
キャッシュ・フロー計算書及び関連事項			変動対価及び条件付き対価	

情報要請の質問



IASBの作業計画に追加される可能性のある財務報告上の論点

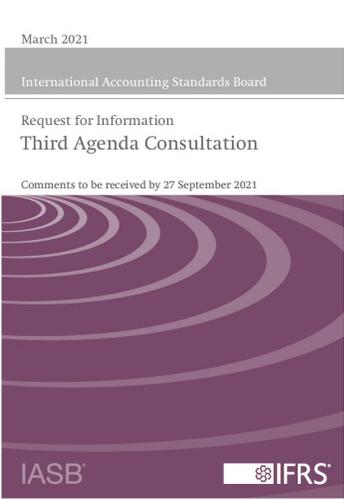
- 情報要請に記載した潜在的プロジェクトのそれぞれについて、どのような優先順位（高・中・低）を与えるか。また、その理由
- IASBは何らかの他の財務報告上の論点を2022年から2026年の作業計画に追加すべきか



その他のコメント

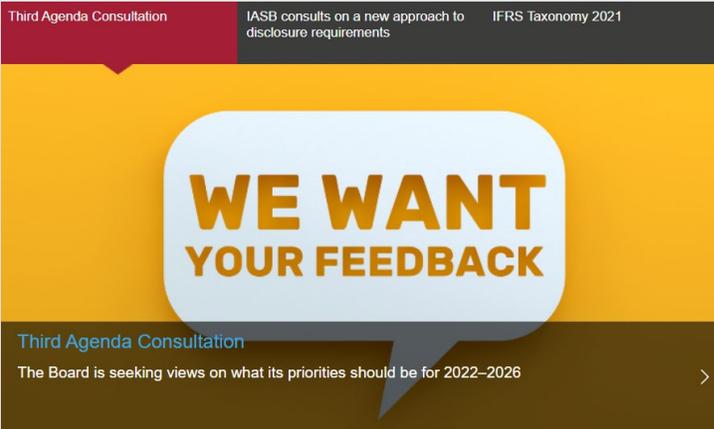
- IASBの活動及び作業計画について他に何かコメントがあるか

公表した資料



March 2021
International Accounting Standards Board
Request for Information
Third Agenda Consultation
Comments to be received by 27 September 2021
IASB IFRS

Request for Information (情報要請)



Third Agenda Consultation IASB consults on a new approach to disclosure requirements IFRS Taxonomy 2021
WE WANT YOUR FEEDBACK
Third Agenda Consultation
The Board is seeking views on what its priorities should be for 2022–2026

Press release (プレスリリース)



March 2021
Investor Perspectives
Third Agenda Consultation
—an overview
Request for Information published by the
International Accounting Standards Board
IFRS

Videos and articles (ビデオ及びその 他の文書)



March 2021
Investor Perspectives
The International Accounting Standards Board's
Agenda Consultation—An Opportunity for
Investors to Weigh In
Zach Gast
Zach Gast, a member of the International Accounting Standards Board (IASB), urges investors to lend their voice to the Board's agenda consultation on its
The Board is asking investors to provide feedback on its Third Agenda Consultation in order to
The Board would like to hear from investors on the
strategic direction and balance of its activities—
for example, how much time it should spend on
developing new IFRS Standards compared with
spent on its other activities, such as supporting
existing application of the Standards. The Board
would also like investors to comment on the Board's
criteria for adding projects to its work plan and on
which financial reporting issues the Board could
add to that plan. It is essential that investors
provide feedback to inform the Board's work
because they are the end customers for the output
of IFRS Standards—comparable financial statements.
This brief publication highlights the vital role that
investors can play in shaping the work of the Board.
The Agenda Consultation is an opportunity for
investors to get forward financial reporting
issues for the Board to consider. The Board expects
to have limited capacity to add new projects to
its plan, so it's essential that investors make their
views and priorities known. Feedback does not
need to be written in technical language, so do not
be tentative; describe your views as clearly as possible.

Find out more
The Board recently published a Request for Information on its Third Agenda Consultation.
You can find the supporting documents for the consultation on our website here.

Send us your views
The consultation period ends on 27 September 2021. Investors can submit a comment
that may be included in the Board's agenda consultation. If you are unable to submit a comment before you can also
complete a survey, brief video, that should take 30-45 minutes depending on the level of
detail in your responses.

IFRS

コメントの方法

- コメントレターの提出
 - ✓ オンライン: <https://www.ifrs.org/projects/open-for-comment/>
 - ✓ 電子メール: commentletters@ifrs.org
- アンケート調査の回答:
<https://ecv.microsoft.com/sDvxcZ9hrt>

Find us online



www.ifrs.org



IFRS Foundation | International Accounting Standards Board



@IFRSFoundation



IFRS Foundation



IFRS Foundation

Join our team: go.ifrs.org/careers